

👤 **ビーバー隊通信**

7月11日(日)みんなで大きなわをつくろう♪(入団体験会・吉備公民館)

みんなで大きなわをつくろう♪ということで説明会の活動です。
 今回はスカウトと体験の子がチームに分かれて1つの大きな絵を作りました。チームごとに「山」とか「海」のように内容を決めて、それにあった動物や植物などの絵を各自描いてもらい、最後に集めて大きな「わ」の中に集まった絵にしました。色紙を切ったり、折ったりして作っても大丈夫。図鑑を見て描く子もいれば、全く見ない子もいました。
 ところが、なぜかどのチームもみんな夏の山に行きたかったようで、虫と花の絵が多かったですよ。夏は色がきれいな生き物が多くて、わくわくしますね。カブ隊の指導者の方々およびスカウト諸君、応援ありがとうございました。来週は川の生き物を探しに行きます。(ujihira)



7月18日(日)ビーバーの川遊び♪

ひさしぶりの屋外の活動で、福谷河川公園で生き物探しと水鉄砲遊びをしました。 まず2名の入隊式を行った後、ライフジャケットを装着、副長が先頭を立てて川の中を下流へ進んでいきました。葦の根元に網を差して上流から追いかけて魚の捕獲を狙いましたが、ヤゴばかりでなかなか大物が出てきません。さらに進むうち両脇を葦にはばまれ、視界が狭くなってきました。あっと思った時には足が川底から離れている、後続のスカウトもぶかぶか浮いています。ライフジャケット効果できめんですが、ここで浮くとは予想外でした。下流に流れがゆるい所があるのは確認済みで、ひとまずそこで移動して先行していたスカウトたちと陸に上がりました。ただ、後ろに離れてしまっていたスカウトの中には、前へ進めなくなってしまった子もいました。保護者のお父さん方の協力で、なんとか川の中から全員上がることができほっとしました。ヤゴやヌマエビ、ドンコなどの大事な獲物をみんなで観察し、恒例の堰堤の深みでぶかぶか浮いた後、河川公園に帰還しました。
 続いてはペットボトル水鉄砲です。蓋に穴を開けてストローを刺したのですが、ストローの先端をつぶすと思いのほか水がよく飛ぶんですね。保護者にも協力いただき、シャボン玉をいっぱい飛ばしたのをスカウトに水鉄砲で撃ち落としてもらいました。そして、活動の最後はスイカ割りで締めくくりました。
 新しい仲間を迎えることができ、充実した活動となったのも保護者の皆様のご協力のおかげであります。これからも冒険心あふれる活動を行う予定ですのでご支援よろしくをお願いします。(ドンコ獲ったどー!ujihira)



7月25日(日)この絵なあに? (石山公園)

ひさしぶりに街中ピクニックをしました。くまざみの大合唱が聞こえる石山公園で集合し、旭川の土手のお花畑を横目に岡山城まで歩きました。岡山城は、コロナ禍で閉城中では入れませんがお庭までは、行けます。そこでお城の庭の見学と家紋を確認したのち林原美術館の「みっけ展」を見学しました。小学生にも見た目におかぬ題材となぞなぞがちりばめられた展示でした。見学する前にピクニック中に見た池田藩の蝶家紋の確認や3つの題材「たぐさの中の1つ」「美術品のなど」「文字を楽しむ」の謎解きを楽しみました。そのあと各自のスケッチブックへ展示の中から気に入りの1枚を描きました。自分で気に入ったものを描くのは筆が進みます。9/5まで小学生は、無料で開催しています。他の隊のスカウトもよかったですら見学に行ってください。(ozaki)



👤 **ボーイ隊通信**

7月3日(土)トナカイ班班集会・7月4日(日)ワシ班班集会

7/10～11日の里山建部キャンプのための備品確認を班毎に行いました。キャンプも3回目となり、備品の確認や持っていく薪の量なども班長、次長の指示であつという間に完了しました。余った時間で初級スカウト達に進級課目のマッチ3本での火付けのレクチャーを1級スカウト達が行って来ていました。先輩スカウトから技能を受け継いでいく形が徐々に増えてきた班集会となりました。(kaji)

7月10-11日(土日)里山建部キャンプ

気温が30度を超える中、感染対策をしながらのキャンプが始まりました。今回のキャンプでは、撫川倉庫出発から、少しづつ予定時刻より遅れており、指導者からの助言(!!)もしばしば、、計画書の再確認、役割の自覚、報告・連絡・相談等、次回のキャンプへの課題も見えてきました。料理では、お菓子を使っていたり、調味料のこだわりなど、班ごと工夫が見られました。思ってたより美味しくできた!等の声が聞こえ、満足いく料理ができていたようです。料理やキャンプファイヤーでは、スカウトの趣味や特技が活かされているところもあり、スカウトの笑顔に自信を感じました。
 猛暑でしたが、怪我や脱水症状等なく活動できてよかったです。8月のキャンプは長期間になるので、一層体調管理には気をつけて、今回出てきた課題をクリアして、楽しいキャンプにしていきたいと思います!(chiaki)

7月18日(日)隊集会在吉備公民館

建部里山キャンプでの振り返りと報告書のまとめを行いました。宿題で個人の報告書をまとめてから班で報告書をまとめるのが本日の課題でしたが、書いてくるのを忘れてしまったり持ってくるのを忘れるスカウト達も多くその場で慌てて書き出すスカウト達もいました。次に活かすためには忘れないうちに反省点や改善案を残していく事を身に着けて行ければと思います。(kaji)

7月25日(日)隊集会在吉備公民館

サマーキャンプの「そうめん流しプロジェクト」の概要から使用材料、役割分担を班毎にまとめて行きました。概略から物作り出す機会がなかなかないなかで手探りで役割分担や材料拾い、使う道具などを書き出して行きました。完成までにはまだまだ遠いですが、スカウト達のなかには「足を固定するにはどうしたら良いか?」「最後の高さをバケツの高さに合わせる」など概略を想像しつつ計画するスカウトもいました。スカウト達が考える活動項目では「ロープワークでアスレチック」、「きもだめし」、「水鉄砲サバイバルゲーム」など楽しい活動項目が出てきました。6月の活動での「ロープワークでブランコ作り」、「縄ばしご作り」が自信になり、次の少し大きな事にチャレンジする良い機会になればと思います。サマーキャンプではどんな工作物が出るか楽しみです(*´艸`)(kaji)

8月1日(日)隊集会在撫川倉庫

いよいよ来週からのサマーキャンプ最終準備の備品確認です。班長、次長の指示で備品確認、購入品の書き出しもあつという間に終わりました。薪棚にある乾燥薪の積込みも終わり、役割分担確認も完了し予定時間に完了する事が出来ました。班長、次長の成長も素晴らしく、何よりも初級スカウト達の責任感に感謝です(◇)保護者さまや関係者さまにはスカウト達の成長のために送迎や買出し、当番宿泊など数多くの御協力感謝致します。(kaji)



👤 **カブ隊通信**

7月4日(日)木堂清掃+倉庫点検

奇数月がカブ隊の本堂清掃。近所の神社と二手に分かれて掃除をします。前日に雨が降ったお陰で草がスイスイと抜けます。30分程掃除をし、これで解散ではございません。今日はこの後もプログラムが続きます。
 徒歩で倉庫に移動し、炊具やテント等の在庫確認及び点検を。不要なものは断捨離です。キャンプ時に困らぬよう中身も十分にチェックします。スカウトみんなが「炊具には何が入っているのか」「ご飯を作るには何が必要か」、把握するのも備品チェックの大切な役目です。そして、構造を知れば自ずとモノを大事にしようと言う気持ちが湧いてきます。
 収納まで片付いた組から次回デイキャンプのメニュー決め。テント設営とカレー作りに挑戦!それにプラス一品も各組で考えます。プラス一品がどんな逸品「イッピン」料理になるのか楽しみです!!(michiko)



7月18日(日)夏の鬼ノ城まつり♪No.1デイキャンプ(砂川公園)

カブ隊、夏の鬼ノ城まつり♪第一弾は、砂川公園デイキャンプでした。屋外でみんなが大好きなカレーライスを作って、おかわり自由で食べられるとあってウキウキ気分スタートです。
 開会式の後には、テントの設営を練習しました。キャンプ場の雰囲気の高揚感のためか、指導者のデモンストレーションを真剣な眼差しでしっかり見ていました。昨年度は、新型コロナウイルスの関係でテントを張る機会が少なかったにもかかわらず、クマスカウトとシカスカウトが初心者のウサギスカウトをリードしてスムーズにきれいにテント設営ができていました。
 その後は、いよいよ炊飯と調理です。各組で決めたサイドメニューの一品も作りました。こちらも大人の心配を横目に、日頃のお手伝いの成果なのか上手に野菜を刻んで順調にカレーができあがり、梅雨空の余韻の湿気が火起こしにこそざつたりしたものの、炊飯も大幅に遅れることなくできあがりました。各組で決めたサイドメニューの一品はフルーツポンチやリング飴などデザート(これが一番の楽しみだったかも)は瞬間にできました。
 多少、時間を押していましたが無事に楽しい食事の時間となりました。みんな、自分たちで作った食事を味わって満足です。この日は、朝は日差しがあつたのですが、だんだんと曇り空に変わり、食事の頃には雨がポツポツ降り出しました。最近では篠原隊長の晴れ男パワーが弱っているようです。
 雨が降り出し、大急ぎで片付けを行いました。雨のせいか、早く帰りたいからかガラガラすることなく、思いのほか早く閉会式となりました。早く新型コロナウイルスが収まって、思い切り泊まりのキャンプができるようになるといいね!(kita)



7月25日(日)夏の鬼ノ城まつり♪No.2ハイキング(鬼ノ城)

カブ隊、夏の鬼ノ城まつり♪第2弾は、体力作りと今年度のカブ隊「大災害にそなえる」という大きなテーマの活動として、鬼城山と岩屋地区で隊集会を行いました。
 午前中は、各組で地図とコンパスを頼りに鬼城山址をぐるりと一周。隊長のやっぱり強い晴れ男パワーでとても天気の良い夏空の中、鬼城山から岡山のきれいな景色を眺めながら、組長・クマを中心に地図とコンパスを使って目的の岩屋寺までたどり着きました。これまでのハイクでも地図とコンパスを使ってきましたが、慣れてきたのもあつてか、使い方が上手になっているように感じます。
 岩屋寺の裏手にある「鬼の差上げ岩」で昼休みにカブ弁を食べ終わったら、岩屋地区でロープワーク。今回はキング・オブ・ノット(結びの王様)の名を持つ「もやい結び」を使って、①自分を安全に固定 ②荷物に結んで引き上げ ③ロープを伝って崖を降りる という3つの課題を全員ができるように練習しました。各組でもやい結びを練習している輪からは「ヘビが池から出て・・・」といった互いに教え合って協力する声も聞こえてきました。皆一生懸命マスターした後は、試験官である篠原隊長の前で一人ずつ披露。緊張しながらも自身のリュックに結びつけて、隊長から全員合格をいただきました!また、緊急時の山岳救助しながらに皆しっかりとロープを握って崖を降りる姿には、指導者も保護者も感動!!スカウトにとっても非常に良い経験となったと思います。
 ハイクとロープワークに満足したせいか、下山のルート案内を間違ってしまったのはご愛嬌ということで、若干近道ルートで戻った結果、少し押ししていた時間も取り戻して予定通りの活動終了となり、とても有意義な一日となりました。
 コロナ禍の中でさらにまだまだ暑い日が続きますが、体調管理・熱中症対策・水分補給を行いながら、充実した日々となるようそなえましょう。(kawamoto)



団のうごき



日本連盟隊長表彰及びボーイスカウト振興国会議員連盟表彰
ビーバー隊長 尾崎由典
 日本連盟功労賞 かつこう章
団委員 坪井慈朗

